

新型コロナウイルス感染症の発生状況（富山県、第12週）

富山県厚生部健康対策室、衛生研究所

方法等

対象期間

令和5年 第12週分 3月21日～3月27日公表分

症例定義

富山県公表資料「新型コロナウイルス感染症の発生状況について」において
上記期間に富山県内で報告された症例
→ 404例

情報源

富山県公表資料「新型コロナウイルス感染症の発生状況について」より、次の情報をまとめた

- 流行曲線、実効再生産数（Rt）、年代分布、年代別報告数の推移 等

図1. COVID-19流行曲線（富山県）

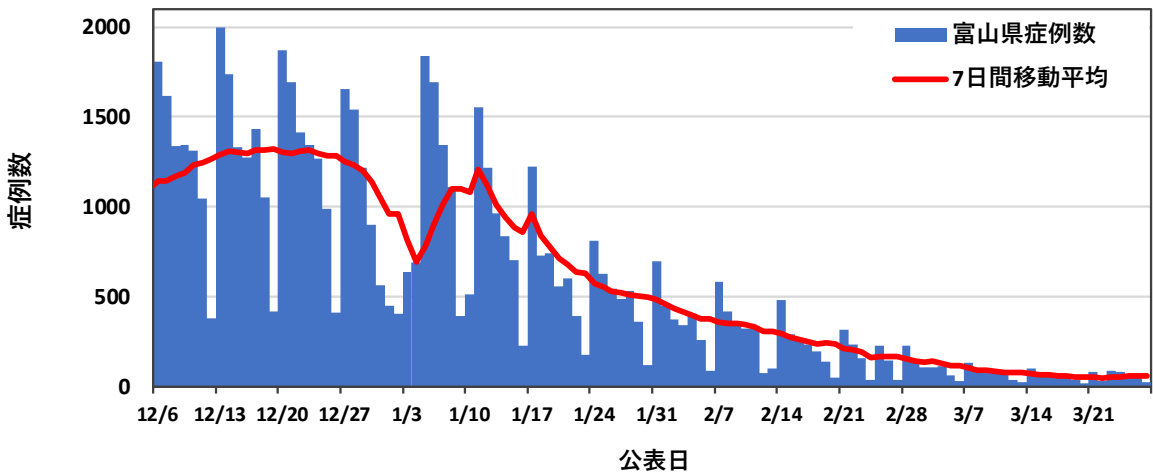
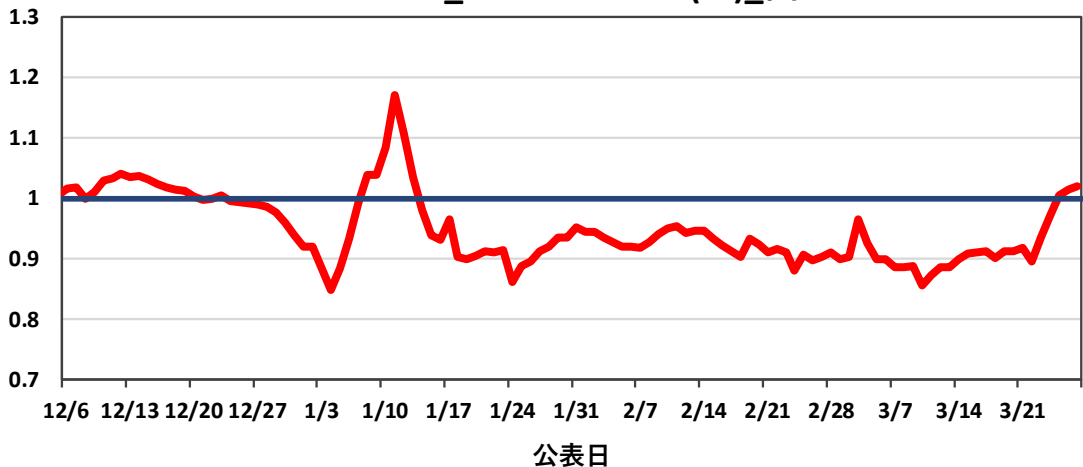


図2. COVID-19_実効再生産数(Rt)_富山県



$Rt = (\text{直近7日間の新規感染者数} / \text{その前7日間の新規感染者数}) \wedge (\text{平均世代時間} / \text{報告間隔})$
平均世代時間 = 2日、報告間隔 = 7日 で算出。

図3. COVID-19年代分布（富山県、12週）

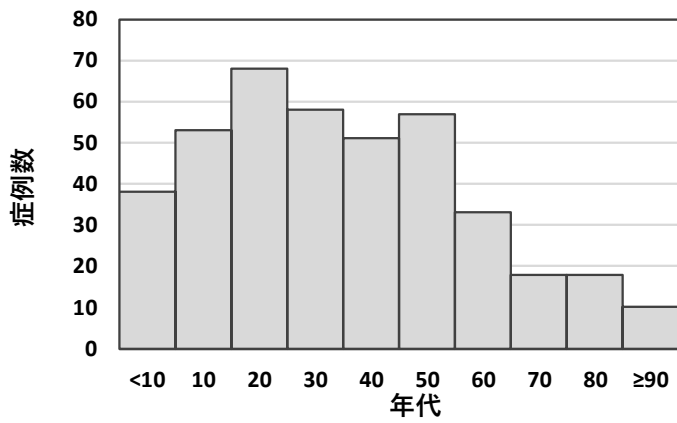


図4. COVID-19年代別割合（富山県、12週）

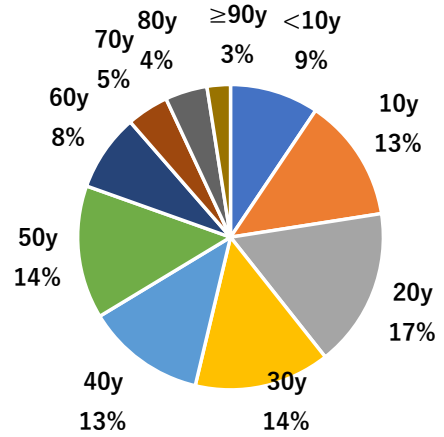


図5. 年代別報告数の推移（富山県）

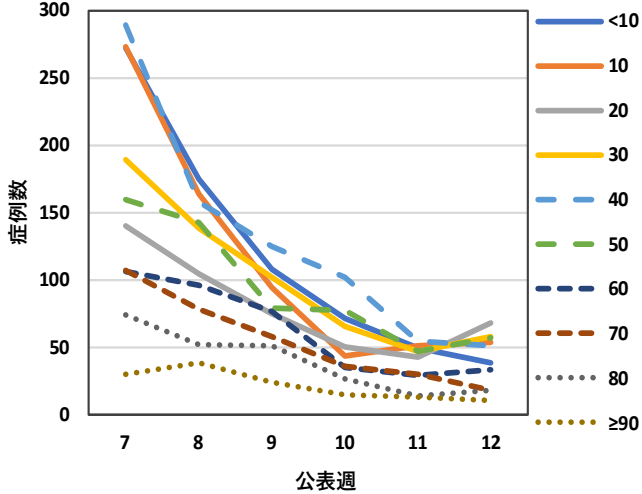
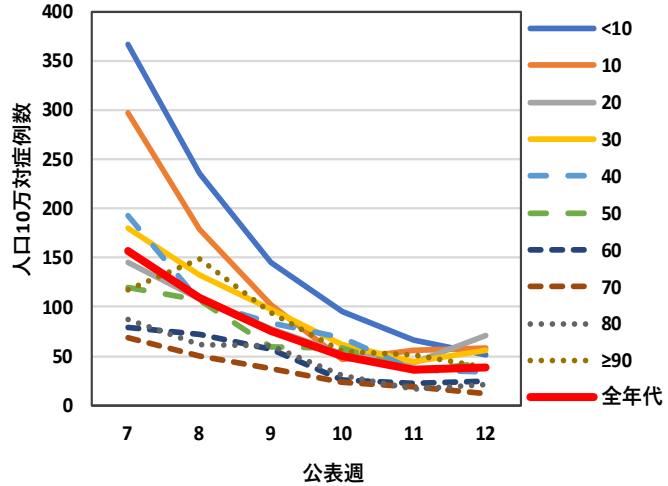


図6. 年代別報告数の推移（富山県、対人口10万）



3月27日時点での所見と評価

- 第12週の新規報告数は、404例。先週（376例）までの減少傾向から増加した（図1）。
- 実効再生産数（図2）は、3/23以降増加し、3/27時点で1.02。
- 第12週に報告された症例の年代分布（図3：ヒストグラム、図4：円グラフ）を示す。20歳代が17%と最も多く、10歳代、30～50歳代は13～14%であった。60歳以上の割合は20%であった。
- 年代別報告数の推移を図5、年代別人口当たり報告数の推移を図6に示す。先週まで全年代で減少傾向～横ばいであった。一方、20歳代（灰色）の報告数は先週42例から今週68例に増加した。
- 過去3年間は、年度が替わるこの時期に流行拡大が認められた。今後、報告数の再増加がないか注視する必要がある。